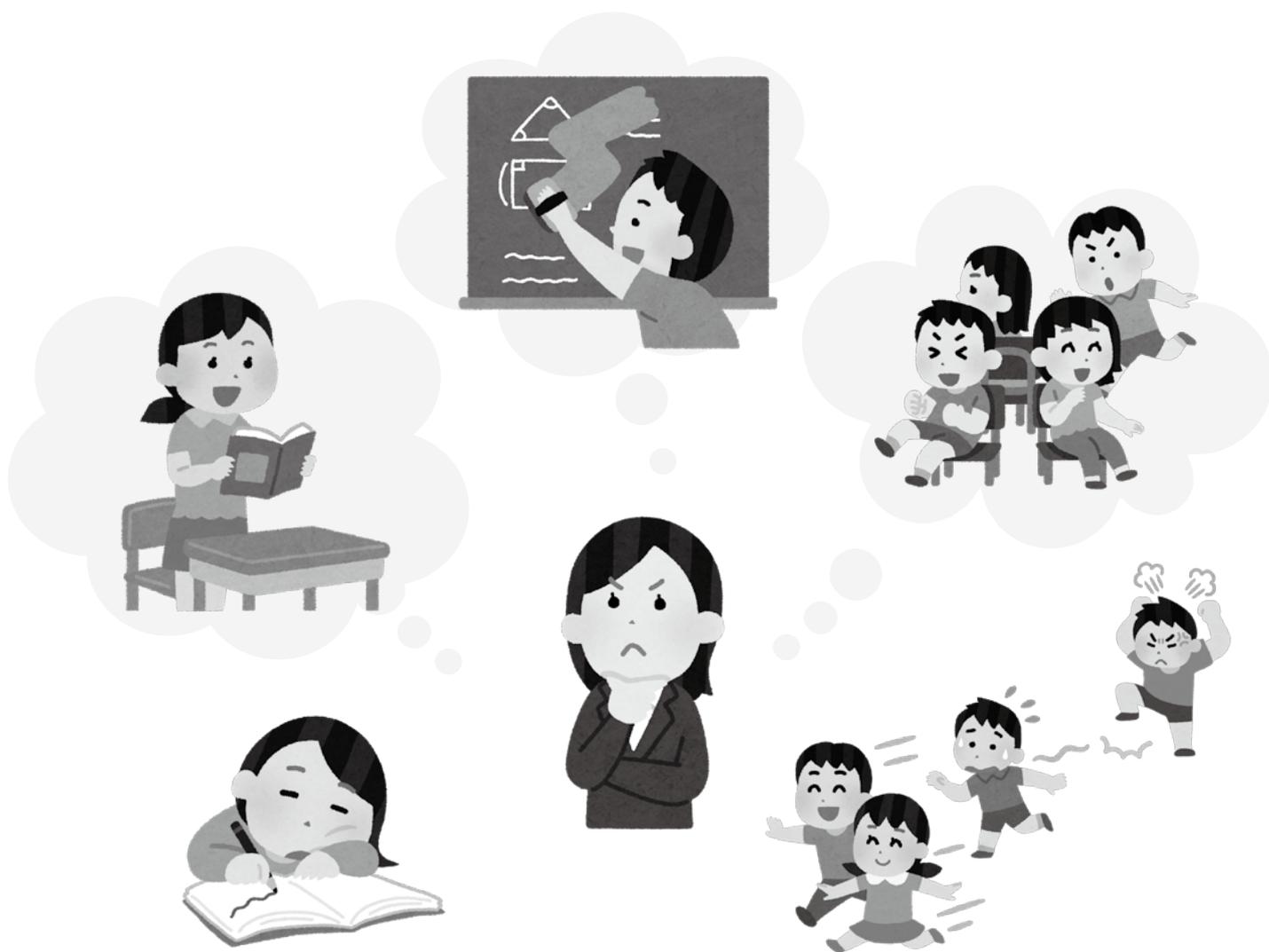


子供のために

先生が気づいて動ける チェックリスト

学校生活チェックリスト（小学校編）



子供のことが気になったら使ってみましょう ▶▶▶

このチェックリストは…

- 障害の有無を判断するためや医療機関への受診を促すためのものではありません。
- 教師が実態把握や支援に活用するもので、子供が自己チェック等のために用いるものではありません。

「学校生活チェックリスト」で子供を理解！

対象は、気がかりに思っている児童です。
担任及びその児童と関わりのある教員が回答します。

〈実施手順〉

質問項目をチェック

・○、△、無記入の3段階で回答します。

○と△の数を記入

教育的対応を検討

・○や△が多く付いた領域(A~G)は
『支援が必要』と捉えます。

チェックの数が少ない場合でも
担任が気になるときや
本人が困っていると思われる場合は
教育的対応を検討するといよいよ



次の場合も支援が必要と考えられます

- 学校でほとんどしゃべらない
- 無気力又は意欲がないようにみえる
- ささいな注意でも被害的に捉える など

これらは、二次的にみられる行動かもしれません。支援検討チェックリストの「Ⅳ二次的にみられる行動」をチェックしてみましょう

本人に必要な支援を始めましょう

支援を始めるにあたっては、本人、保護者の理解を得ることが大切です。
※感覚の過敏性は個人差が大きいため、あせらず本人や保護者と相談して進めましょう

支援を考えるときには

特別支援教育指導資料第102集
「特別支援教育学びQ&A(指導事例集)」(平成28年3月発行)が
参考になります。

学びQ&A



富山県総合教育センターのHPから閲覧・ダウンロードできます。
<http://center.tym.ed.jp/>



さらに詳しい実態を知りたい場合、個別の教育支援計画等を作成したい場合は…

「支援検討チェックリスト(小学校編)」を実施してみましょう

学校生活チェックリスト（小学校編）

学年・組		氏名		記入者		記入日	
------	--	----	--	-----	--	-----	--

回答欄：よくある…○、ときどきある…△、ない…無記入

		質問項目	回答欄	領域
登校・朝	1	通学中に、興味のある物を見付けると（集団登校の列からはずれ）見に行く。		B
	2	日直等係の仕事を最後までやり遂げられない。		B
	3	時間割変更や活動の手順の変更があると、怒ったり対応できなかったりする。		F
授業 (通常の学習・行事等)	4	忘れ物をしたり、机の中が整理できなかったりする。		B
	5	手足をそわそわ動かしたり、体を絶えず揺すったりする。		C
	6	教師の質問が終わらないうちに答えたり、指名されていないのに回答したりする。		C
	7	球技等をするとき、仲間と協力できない。		D
	8	授業内容と関係のない質問をする。		E
	9	聞いた内容を覚えられない。		A
	10	個別に言われると聞き取れるが、集団場面では難しい。		A
	11	考えを話すとき、言葉につまる。		A
	12	見たことや体験したことを順序立てて話すことが難しい。		A
	13	文中の語句や行を読み飛ばしたり、読み間違えたりする。		A
	14	文章の内容理解が難しい。		A
	15	漢字の細かい部分や拗音、促音等を書き間違える。		A
	16	黒板の字を写すことに時間がかかる。		A
	17	計算に時間がかかる。		A
	18	算数の文章題から式を立てることが難しい。		A
	19	作文や日記等文章を書くとき、内容や文の構成を考えることが難しい。		A
休み時間	20	友達と仲良くしたい気持ちはあるが、関係をうまく築けない。		D
	21	友達のそばにいても一人で遊んでいる。		D
	22	相手の言うことを言葉どおりに受け止めてしまう。		E
	23	「太ってるね」など、他者が聞いて気分を害する言葉を感じたまま口にする。		E
	24	点数や勝敗にこだわり、負けそうになると機嫌が悪くなる。		F
	25	雑踏や人の多い場所、特定の音やにおいを嫌がる。		G
	26	体に触られることを嫌がる。		G
給食	27	当番であることを忘れて遊びに行ってしまう。		B
	28	偏食がある。（白ご飯は食べるが、赤飯や炊き込みご飯等、他の物が混ざったり色がついていたりすると食べられないなど）		F
掃除	29	掃除中等に、周りの友達にちょっかいをかける。		C
下校	30	仲の良い友達がおらず、一人で下校している。		D

	Ⅰ 学習面	Ⅱ 行動面		Ⅲ 社会性			
	A 学習面	B 不注意	C 多動性・衝動性	D 人とのかわり	E コミュニケーション	F 興味・こだわり	G 感覚の過敏性
△の数	/11	/4	/3	/4	/3	/3	/2
○の数	/11	/4	/3	/4	/3	/3	/2

【 指導・支援の例 】「学び Q&A」より

「4 忘れ物をしたり 机の中が整理できなかつたりする」にチェックが付いたら…

学び Q&A
P.28



◆ 推測できるつまずきの要因

- A 言われた直後は分かっているが、他のことをしている間に忘れてしまう
- B 宿題の提出や片付けよりも、次の活動を優先してしまう
- C 物の分類・整理ができない

◆ 指導・支援の例

Aへの対応 必ず目にする場所に手掛かりを配慮する

- ・ 帰りに、翌日の提出物のメモを机に貼っておく など

Bへの対応 活動の終わりに確認し、評価する

- ・ 授業の終了後、すぐに文房具を筆箱に入れたか確認し、できていればほめる など

Cへの対応 収納場所や数を明示する

- ・ 個人の棚や机の中の道具箱等に何を収納するか書いて貼っておく など

「16 黒板の字を写すことに時間がかかる」にチェックが付いたら…

学び Q&A
P.19

◆ 推測できるつまずきの要因

- A 一度に覚えておける文字数が少なく単語のまとまりで読むことが難しい
- B 視線を素早く移動させられない
- C 空間の位置関係や文字の形を捉えることが難しい
- D 目と手の協調運動が弱い

◆ 指導・支援の例

Aへの対応 視覚的・聴覚的な手がかりを活用する

- ・ 書く内容を単語や文節で区切って音読しながら板書する など

Bへの対応 視線を移す距離を短くする

- ・ 板書の内容が書いてあるメモを渡し、手元に置いて書き写すようにする など

C・Dへの対応 黒板やノート、鉛筆などの配慮をする

- ・ 空白部分のみを書き込みワークシートを準備する など